



解答・解説集 p.18

名前

年 組 番

合計得点

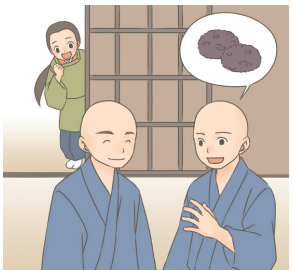
100

要点 チェック

次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

今は昔、比叡の山に見ありけり。僧たち、今となっては昔のこと、比叡山延暦寺に児がいた。僧たちが宵のつれづれに、いざ、かいもちひせんとい宵のたいくつしにさあ、ぼたもちを作ろう。と言ひけるを、この児心よせに聞きけり。この児は(しめた)心待ちにして聞いた。

「手治拾遺物語」より



※古文の読み仮名は現代仮名遣いです。

1 動作主(誰の動作か)をおさえる。

- 1 「聞きけり。」とは、誰の動作か。次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 僧たち イ 児 ウ 作者

線部のすぐ前に書かれているよ。



2 人物の会話をとらえる。

この古文中から会話を一か所探し、十字で書き抜きなさい。

Blank lines for writing answers.

会話文の後には、「言(こと)言(こと)言(こと)」などの形になることが多いよ。

1 次の文の [ ] の動作主を、解答欄の字数で古文中から書き抜きなさい。

- (1) 一人の男、文挟に文をはさみて申す。

「竹取物語」より

- (2) 鳥のねごころへ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど飛びいそぐさへあはれなり。

「枕草子」より

【現代語訳】鳥がねごころへ行こうと、三、四羽、二、三羽などと飛び急ぐことさえ、しみじみとした趣がある。

2 次の古文中から塩屋の主の会話を二十七字で探し、初めと終わりの三字を書き抜きなさい。

(海岸でさまよっていた文太という青年を、塩屋の主人が引き取った。)

主申しけるは、かくてつれづれにおはせんより、塩焼く薪なり主人が言うことには、「こうしてひまをうにしていらつしやるより、塩を焼く薪でもとも取り給へと言ひければ、「いとやすきことなり」とて、薪をぞ取つていただけませんかと言つたので、全くたやすきことなりとて、薪を新を取りける。」

「正文草子」より

会話文の前を探せ。

Blank lines for writing answers.

次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

武州に西王の阿闍梨と云ふ僧有りけり。「御年は、いくらにならせ給ひ候ふぞ」と、人の問ひいくつにおなりになったのですか。

ければ、「六十に余り候ふ」と云ふに、七十に余りて見えければ、不審に覚えて、「六十には、い

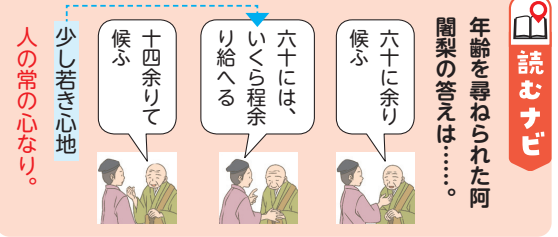
ぎて、十四余りて候ふ」と問へば、「十四余りて候ふ」と云ひける。遙かの余りなりけり。七十と云へる

よりも、六十と云へば、少し若き心地して、かく云ひける。

人の常の心なり。人の心の常である。
\*武州||武蔵の国(現在の埼玉県・東京都・神奈川県東部)のこと。
\*阿闍梨||密教の高位の僧の称号。または師範となる僧の敬称。

読むナビ

年齢を尋ねられた阿闍梨の答えは……。



少し若き心地 人の常の心なり。

1 古文中の会話や動作主について、問いに答えなさい。

- (1) 「問ひければ」とは、誰に何を問うたのか。次の文の空欄に当てはまる言葉を古文中から書き抜きなさい。

Blank lines for writing answers.

\*

- (2) a 「問へば」、b 「云ひける」の動作主は誰か。次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

Blank boxes for selecting answers.

- ア 西王の阿闍梨 イ 阿闍梨以外の僧 ウ 人 エ 作者

2 「不審に覚えて」とあるが、不審に思った理由を表した次の文の空欄に当てはまる言葉を、現代語訳から書き抜きなさい。

\*阿闍梨は年齢を六十過ぎだと言っているが、実際の見た目は

Blank lines for writing answers.

いるように見えたから。

3 「十四余りて候ふ」とあるが、阿闍梨は実際には何歳だったのか。漢数字で書きなさい。

Blank line for writing the answer.

- (2) 阿闍梨が初めに年齢を「六十に余り候ふ」と言った理由をどう書いているか。理由を古文中から二十五字で探し、初めと終わりの五字を書き抜きなさい。

問題かみくだけ

六十に( )余る場合、普通( )に四つ余ると言つのに、「六十に余り候ふ」と言つたんだね。



Blank lines for writing answers.

4 「人の常の心なり。」とあるが、どんなことが「人の常の心」だといふのか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

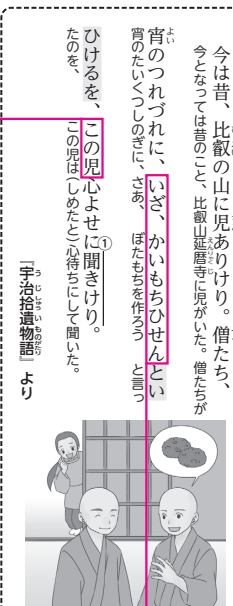
- ア 実際の年齢よりも若く見られたと思うこと。
イ 長生きすればするほど人格が高まっていくこと。
ウ 人の心は見かけや地位からは判断できないこと。
エ 問い詰められると、つい真実を話してしまうこと。

Blank box for selecting an answer.

古文の主語・会話をとらえよう

要点 チェック

次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。



「手治拾遺物語」より

① 動作主(誰)の動作か。をおさえる。

② 人物の会話をとらえる。

③ 「聞きけり。」とは、誰の動作か。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 僧たち  
イ 見  
ウ 作者



線部のすぐ前に書かれているよ。

この古文での会話文は、「**いざ、かいてもちひせん**」という僧たちの言葉のみです。

**いざ、かいてもちひせん**

会話文の後、「と」(言ふ)などの形になることが多い。

(1) 古文では、「人物名」「は」「は」「や」「が」を補って読むと文意が通じることが多くあります。

(2) 「……」で主語を表す場合があります。

① 次の文の□の動作主を、**解答欄**の字数で古文中から書き抜きなさい。

ガイドP.34 10点×2

(1) 人の男 文挾に文をはさみて申す。

「竹取物語」より

(2) 鳥のねどころへ行くとて、三三四つ、二二三つなど飛びいそぐさへあはれなり。

「枕草子」より

現代語訳 鳥がねどころ行くとて、三三四羽、二二三羽など飛びいそぐさへあはれなり。

鳥

② 次の古文中から塩屋の主の会話文を二十七字で探し、初めと終わりの三字を書き抜きなさい。

ガイドP.34 10点

(海岸でさまよっていた文太という青年を、塩屋の主人が引き取った。)

主申しけるは、かくてつれづれにおはせんより、塩焼く薪なり

主人が言ひけるは、いよやすきことなり」とて、薪をや

取こきてしたげまかき置いたるや、全くとやすしといひて、いよやすきことなり」とて、薪をや

取りける。

「文正聖子」より

**かくて、り給へ**

「申しけるは」と言ひければ「の間が主の会話文です。」

次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

沙石集より

武州に西王の阿闍梨と云ふ僧有りけり。

阿闍梨は、いくらにならせ給ひ候ふぞと、人の問ひ

いづくにおなりになつたのですか。

と云ひける。遙かの余りなりけり。

七十と云へる

よりも、六十と云へば、少し若き心地して

云ひける。人の常の心なり。

人の心の常ある。

\* 武州は武蔵の国。現在の埼玉県。東京都。神奈川県東部のこと。

\* 阿闍梨は密教の高位の僧の称号。または師範となる僧の敬称。



年齢を尋ねられた阿闍梨の答えは……。

② 「不審に覚えて」とあるが、不審に思った理由を表した次の文の空欄に当てはまる言葉を、現代語訳から書き抜きなさい。

10点

\* 阿闍梨は年輪を六十過ぎたと言っているが、実際の見た目は

**七十歳を過ぎて**いるように見えたから。

③ 「十四余り候ふ」とあるが、

阿闍梨は実際には何歳だったのか。漢数字で書きなさい。

**七十四** 歳

② 阿闍梨が初めに年輪を「六十に余り候ふ」と言った理由をどう書いているか。理由を古文中から二十五字で探し、初めと終わりの五字を書き抜きなさい。

10点

問題かみくだき 六十に(十四)余る場合、普通(七十)に(四)つ余ると言つたに、「六十に余り候ふ」と言つたんだね。



**七十と云へ、**き心地して

④ 「人の常の心なり」とあるが、どんなことが「人の常の心」だといふのか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

10点

ア 実際の年齢よりも若く見られたと思うこと。

イ 長生きすればするほど人格が高まっていくこと。

ウ 人の心は見かけや地位からは判断できないこと。

エ 問い詰められると、つい真実を話してしまうこと。

ア

\* 西王の阿闍梨に御年を問つた。

(2) a 「問へば」、b 「云ひける」の動作主は誰か。次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 西王の阿闍梨  
イ 阿闍梨以外の僧  
ウ 人  
エ 工作者

実際に出てくる人物は、「西王の阿闍梨」と「人」だけです。

入試に出た漢字 ① 友達からゲームをか**借**りる。 ② 竹刀をかま**構**える。 ③ 友人に本をか**貸**す。

④ 絶好のきかい**機**会を待つ。 ⑤ けが人をか**んご**看護する。 ⑥ 相手と言葉をか**交**わす。